

公益財団法人みちのく未来基金

2012 年度（2012/10～2013/9）事業計画書

1. 事業計画の概要

奨学金の給付および奨学生の交流の促進

東日本大震災において両親もしくは片親を亡くした遺児・孤児のうち、大学、短期大学、各種専修学校に進学する生徒を対象に奨学金を給付するとともに、遺児同士のコミュニケーションの促進を図ることで心のケアにつなげて参ります。

2. 2012 年度における事業実施計画

① 奨学金給付

2011年度実績および2012年度における給付申請状況は以下の通り。

	2012 年度(人)					2011 年度(人)			
	申請者	国公立 大学	私立 大学	専門 学校	未定	進学者	国公立 大学	私立 大学	専門 学校
合計	113	43	32	32	6	96	11	43	42
岩手県	35	17	6	8	4	35	7	17	11
宮城県	69	23	23	22	1	54	2	24	28
福島県	6	3	2	1	0	6	1	2	3
3 県以外	3	0	1	1	1	1	1	0	0
年度内 割合	100.0%	38.1%	28.3%	28.3%	5.3%	100.0%	11.5%	44.8%	43.8%

※2012 年 8 月末現在

・ 2011 年度（第 1 期生）人数

みちのく基金から既に奨学金給付を行っている人数は 95 名。給付開始時点では 96 名であったが、1 名が自主退学し、現在は 95 名となった。

・ 2012 年度（第 2 期生）人数

基金の調査では、2013 年春高校卒業予定の震災遺児は約 150 名。2012 年 8 月末時点での 2013 年 4 月からの奨学金給付希望の申請者数は遺児全体約 150 名のうち 113 名で昨年進学者数より 17 名増。また 2 期生の特徴として、被災地域からの転居・転校

により秋田・東京・大阪と被災3県以外の地域の申請者がいる事が挙げられる。

・ 2012年度全体見込み

2012年度については第1期生、第2期生合計で208名の給付人数になる見込み。

② 給付金額

2012年度（第1期生＋第2期生）奨学金給付見込み

1期生への入学初年度給付残支払額（2012/10-2013/3まで）	1,492万円
1期生への2年次年間給付予定金額	7,743万円
2期生入学年度の奨学金給付必要見込み額	14,349万円
1期生および2期生給付金額総額見込み	23,584万円

2012年度の給付金額については23,584万円になる見込み。この約2.4億円の試算をベースに年間の資金繰りを行っていく。

※奨学金の振込回数変更

現在、奨学金の振込については現在前期・後期の分納を基本に対応しておりますが、想定を上回る奨学生の申し込みによる事務作業量の増加に対応するため、振込回数を年1回と変更していきます。

③ 学生同士の交流促進

・ 奨学生の集い（2013年3月予定）

基金奨学金の給付を受け進学をする生徒を進学前の3月末に一同に招き、門出を祝いと奨学生同士の交流促進を目的として奨学生の集いを実施する。また理事、評議員、寄附者（支援者）、基金在学学生等が一堂に会する唯一の機会でもあり、奨学生には基金に関わる全ての方々との交流を図ることで、運営者・寄附者の想いを理解してもらう会として実施を予定。

・ みちのくカフェ（仮称・2012年10月以降月に2回程度）

仙台・盛岡・東京にて奨学生たちが気軽に集い情報交換できる場所の提供を目的に「みちのくカフェ（仮称）」の開催を予定しています。

・ SNSサイトの運営（通年）

基金独自のソーシャルネットワークサイトの運営を通じて、震災による遺児孤児同士

の交流を促進する。外部閲覧を禁止し、辛い体験を共有する彼ら同士の交流を安心して行ってもらうことで、心のケアにつなげていく。

以上